



- ・ 無菌室管理とする
- ・ Day8 以降ロイコブロール(M-CSF)を 10 日間投与。その後、フィルグラスチム(G-CSF)75~150 $\mu$ g/day を好中球が回復するまで投与
- ・ レチノイン酸症候群(発熱、呼吸困難、低酸素血症、低血圧、急な体重増加など)の発症に注意  
[イダマイシン](壊死性)
- ・ 血管痛、静脈炎、血栓を起こすことがあるので、注射速度をできるだけ遅くすること
- ・ 尿が赤色になることがある
- ・ 《禁忌》他のアントラサイクリン系薬剤等、心毒性を有する薬剤による前治療が限界量(ダウノマイシンでは総投与量が体重あたり25mg/kg、アドリアシンでは総投与量が体表面積あたり500mg/m<sup>2</sup>、塩酸エピルビシンでは総投与量が体表面積あたり900mg/m<sup>2</sup>等)に達している患者